

デジタルコンテンツ産業について取り上げた公開授業



デジタルハリウッド大(東京)杉山学長

八学大で公開授業

コンテンツ産業可能性は

八戸

社と八学大とが2012年に連携協定を結んだのをきっかけに、交流が続いている。

杉山学長は人工知能など科学技術の急速な発展を挙げ、「デジタルコンテンツ産業を知らずしてビジネスの成功はない」と強調。

「社会の一部をコンピューターに置き換えるのが今までの時代だった。これからはコンピューターが空気のように存在しているのを前提に世界をデザインし直すこと」と社会に多くの商機が眠ることを訴えた。

八戸学院大は8月29日、コンピューターグラフィックスなどデジタルコンテンツ産業で人材育成に取り組む、デジタルハリウッド大(東京)の杉山知之学長(62)を招いた公開授業を行った。学生や社会人など約30人が受講し、デジタルコンテンツ技術を活用した産業の可能性を探った。

デジタルハリウッド大は一線で活躍する技術者が指導に当たる学校で、設立から10年余りがたち、国内外に多くの人材を輩出してきた。運営会

(金澤一能)